

国労東日本電気協議会情報

2021.
12. 8
NO. 59

発行責任者 後藤寿昭
編集責任者 加藤英樹

第34回定期委員会

が開催される

東日本電気協議会は第34回定期委員会を12月5日 13時より、大宮ソニックシティー会議室において委員9名、役員10名、東日本本部から中谷執行委員・和賀執行委員が出席し、小林新幹線強電分科長の司会で開会しました。議長には八王子地電協甲府信号MCの星川氏が就任し、コロナ禍で技せとの交流がなくなりました。地電協学習会等が中止になったが執行委員会は開催してきました。現場ではベテランの知識よりデータ重視になってきている。若い方が加入し役員を担って来ていますので次に続く若手をつくってほしい。今委員会では活弁な議論をしていただきたいと挨拶がありました。



中谷東日本本部執行委員挨拶

①年末一時金について貨物1.67カ月・東日本2カ月という低額回答に対し、本部・全貨協は本年度黒字経営を確保することが見通せ、社員・家族の生活実態を踏みにじる回答に対し抗議行動を行ってきた。東日本は要求2.7か月+5万円を柱に3回目の交渉を行ってきた。2回目では会社から第2決算で赤字になり非常に厳しい状況と回答、組合側からコストダウンというが一人が何役も行い業務している賃金だけ減らすのは家族も耐えられない、青年部アンケートを取り組む中で73.6%が賃金に不満をもっていると職場の生の声を会社にぶつける一方で、交渉の速達性を高めるためダイジェストの発行を行い、各支社では要請行動も行ってきた。3回目ので2カ月という低額回答を会社は行い経営者の責任を労働者に転嫁している行為はゆるせない。会社は業績だけではなく社員の努力など総合的に勘案する・支給額については労使が真摯に議論し会社が決め、労使の協約協定に基づき進めてい

くと会社から回答を引き出している。このことを多くの職場で広め組合の優位性を訴え一人でも多くの社員が組合に加入するよう声をあげてほしい。2022春闘について全国代表者会議があり定期昇給の完全実施・平均2.2%6000円引き上げ・再雇用者の賃金引上げ・グループ会社時給1500円・第2基本給廃止等を要求し、現場を2月25日に設定する。東日本は今年へア0・昇給係数2・一時金年間4カ月という超低額回答であった。会社は役員給与を減らし赤字だから仕方がないといっているがそれではすまされない、若い人の声を拾い春闘にぶつけてほしい。



②反合理化闘争について、東労組大量

脱退により過半数を代表する組合がなくなり、会社は変革2027に着手し、コロナ禍で時計の針が10年早まっているといい、柔軟な働き方が合言葉になり組合加入率が2割まで落ち込み会社のやりたい放題になっている。本部では各会議を開催し、議論の中心は営業統括センターにおける施設職場との連携業務についてである。本部本社間では標準数という言葉を見直すと言ってきた。組合側からは駅を例に挙げその日のダイヤ・休日等で標準数を決めてきた、会社側からはその考えを見直したい本社内で勉強中なので示すものはないと言われている。解明要求で標準数の考え方を明らかにする項目を再度上げてきたが会社側から勉強中示すものは無いと回答がされ、地方提案ダイヤ改正で示すとなっていく。設備職場で駅への兼務発令はあるのかと聞いてきたが会社はゼロではないが無理だろうと回答してきた。職名が統一され就業規則の指示命令系統が統一化される。また、電気職場でフレッシュタイムの導入が進められている。2019年に制度提案があり工事事務所へ導入された。会社は社員の発意でやっていき、柔軟で使い勝手がいいと進められている。申14号新幹線

電気交渉を進めてきたが、専門知識が裏付けされた職協別交渉が大切になっている。

大角全国電気協議会議長挨拶

この2年コロナ禍で集まることができていない。今年4月に総会を開催したが東日本だけの参加であった。北海道はエルダー・東海・西日本・九州も少なく四国はいない等、少ない状況だが今後全国総会を開催し組織の在り方について話し合いたい。



後藤東日本電気協議会議長挨拶

昨年1月からの新型コロナウイルス感染拡大も感染者の増大と減少を繰り返し一時は増加のペースが加速し今年4月上旬に累計50万人に達してから4カ月で100万人と言った中「緊急事態宣言」「蔓延防止等重点措置」といった対策により人の動き生活が大きく制限される状況にありました。その後、1

0月に約半年ぶりに解除がされ以降今のところ減少方向に進んでいます。また、南アフリカで新たな変異株も発生してきています。まだまだ、油断できない状況は続いていきますが、会社は、コロナで「変革のスピードが10年早くなった」としてきています。この間5月に「現業機関における柔軟な働き方の実現について」の提案がされ本都本社間において5月・8月・団体交渉が取られ8月27日「2次解明及び基本要請」を提出し10月18日に交渉が取られまれました。その後引き続き本社本部間での議論を進めるとしつつ、10月25日以降順次、各地方機関において提案を進めていくことを会社は通知してきました。こうした、会社からの一方的な通知については、地方機関段階での丁寧な説明や議論が重要です。実施時期前提のスケジュールで進んでいく事になる懸念もあります。そうしたことから、しっかりとこれまでの本部交渉を軸に地方交渉を進めていかなければいけない状況となっております。

ない中で進んでいない状況もあります。こうした中で、昨年「新幹線体制の変更」が見切り発行的に行われてきています。「新幹線体制変更後の要請」として申す4号を今年1月に提出してきました。交渉についてはコロナ禍の状況の中、打合せもリモートや「緊急事態宣言」が継続して出ている中で交渉日程の調整も後手に回ってしまう状況もありましたが、取り組んできました。交渉では標準要員の統一化、電力関係ではMCに変電系統の熟練者の配置、障害復旧マニュアルの策定、職場環境の整備、信通関係では通信担当を各MCへ配置、雪害の対応策の開示、トラブルマニュアル作成の進捗状況等を求めています。交渉内容については議事録等を参照して頂ければと思います。要員関係については曖昧な回答の繰り返しで明言をしない対応に終始してきています。

味では、「エリア電気職場交流会」合同分科会をどういった方法で開催していくかしっかりと検討していきたいと思えます。また、検証は、各地方でどれだけ取り組めるかにかかっています。組合員数も少なくなってきたところが増える中で、国労だけでは到底無理があります。職場を巻き込んだ取り組みが必要になってくると思います。出来る限りのデータを集め検証の取り組みに活かすことが重要となってきますので地方地区の取り組みも併せてお願いします。

また、この間会社は、工事や作業の円滑化と言う名目でマニュアル等の変更しシステムを超えた作業をさせる体制を進めてきています。今回も「き電停止作業」の計画・検電接地の取り扱い業務を拡大してきています。これまで、電力関係でさえ検電接地時の事故は数多く出ていますし、ましてや精通していない多系統では事故を誘発する可能性が大きいと思っております。そこには、十分な教育は勿論、工事等必要作業において発生するものですので作業の間隔があげば忘れるや間違いも発生してきますので、定期的な教育を継続することが事故を起こさないために必要だと思っております。

事故関係に於いては、線間区間外や線閉着手前に短絡器の取り付けと言った

職場の声をつなごう

補助手段である対策が活かされていない事象も度々おきています。また、仙台では緊急の障害対応時に汽笛吹鳴を受ける事象も発生している。これは、安易管理者の作業指示とやらなくてはと言っ現場の思いが「安全が二の次」になってしまい発生したのではないかと考えられます。これから若手主体での作業が常態化する中で改善していかなければならぬ問題だと思っています。

最後になりますが、コロナ禍の状況でエリア電協とこの間、取り組みが出来ず函がゆい思いもさせていることは十分反省して、今後の運動の強化に向け、方針(案)に肉付けをお願いする意味で、今定期委員会で委員の皆さんの活発な発言をお願いします。

【盛岡】

電協執行委員会を2回開催してきた。組合員は本務とエルダーが逆転しほとんどエルダーになるので電協の在り方を話し合ってほしい。変革2022以降問題点を挙げてきた。在来線モニタリングで碍子の検修は外注だが、会社からは直轄で見るとも言われている。他の支社どうなっているか。管理MCはエリア

【秋田】

フレックスが技セで導入・MCはフレックス欠勤が入った。一年前から工事使用判定がリモートになり、移動距離がなくなり冬場の事故が減り楽にはなった。12月に信通停電教育を行ったが責任者はやりたくない。若い人の話の中で東北は新幹線のように技セが統合される話が出ていた。

末端までいきわたっていないく停電の取り方がわからない。在来線が新幹線も負荷交渉を行っているが管理者はわかっていない。新幹線では担当を速く回し技術継承ができていない。技術協議会が行われているが最後まで出来ない組もある。今の電気側場で働けないと若手退職が多く出ている。

【仙台】

停電で事故や仙石線で退避遅延が起きている。昨年磐越東線での退避遅延は変革2022で会津若松が移管され、郡山から只見線の障害に行きその後も他の障害対応を行い磐越東線で退避遅延がおきた。管理MCの方は他のエリアももつことになり土地勘のないところへ行き事故や退避遅延が起きている。処分も出ているが周りはわからないほど閉鎖的である。2021年6月の仙石線退避遅延では訓告処分が出された。9月28日には東北線で誤接地も起きている。電協として役員も少なく問題を集約し要求を出し交渉を進めることが厳しい状況。

【千葉】

移管MC教育ということでは向していた方が復帰した。フレックスは所長・副所長・通信が入り、フレキシブル説明は受けたが労働時間管理を聴いたがあ

まりいい返事をもらえていない。「コミュニケーションボードは社友会のもの。EMS宿直が廃止され繁忙期の宿直も行わない。コロナ感染が2回起き全員PCR検査を受けたが非番や家にいて休みの人も受けさせられたことは問題。今後熱が出た時にインフルエンザ・コロナ対応がどうなるか職場で話をしている。き電停止作業が問題になっていて、停電計画から作業までやるが、修正するのに電力技セとのやり取りで時間がかかる。試行通りに行われていないところもあり、補助票など電力知識が必要な部分も要求される。希望する日程が取れないことや手続きに時間がかかることが問題になっている。キ電停止はP社が行うが手続きは設管Gでやっている。

【新潟】

出向者3名しかいない。非番も多く人数が少なく緊急出動の対応ができない。埋設確認が多く一人で長距離の確認を行っているので大変。宿直も行っているがPCの時間が管理されていて仕事ができない。夜勤が10回あり体がきつい。新潟支社は駅からトイレをなくす調査を行っている。地本内の0名をきり集まり切れないところもあるので分会の見直しを提起している。

【高崎】

電所が在来線になり勉強会はあったが



電所が在来線になり勉強会はあったが

上信越新幹線信通技セは希望者がフ
レックスに入っている。発足時より
1名減り土日出勤が増えた。保守用車
の給油立会を総務が行っていたがM
Cに押し付けられ、積算の数量出しを
MCで行わされている。エリアが広
すぎるため、休日管理者が不在の時は
技セ管理者が承認を行うのだがわか
らないため隣のMC長が承認を行っ
ている。エリア統合により管理者は
設備把握できていない。

【長野】

組織人員が減り厳しい状況。2年連
続減額されローンを返済している若
手は将来不安な方もいるし、退職者も
出ている。人間関係で悩んでいる方も
いて人事異動があった。長野と立川M
Cで人事交流も行われているが本人
希望ではない。退避遅延は自職場でも
起きる問題で、施工基面は草が多く逃
げれない箇所も多くある。会社は繰
り返し事象の撲滅と言っているがな
らないと思う。線閉承認で駅からの
クレームが多く担当者により違いが
あり苦労している。12月から技セ
はフレックス導入、テレワークは技
セで定着している。見張りダイヤに
ついて取り扱い方・様式が変わった。
モニタリング調査が行われているの

で問題点は分科に挙げる。

【神奈川】

夜間作業の時、日勤終了後4H・夜勤
明けで4H超動している人がいて、支
社から課長がきて個人面談を行った。
終礼点呼をメセでも行うようになり
超勤報告するようになった。超勤す
るのはいいが明日できるものは回し
てほしいと管理者から言われている。
宿直終了後昼食を用意し超勤を行って
いる人もいる。管理者も言い切れな
くダラダラしている。時差出勤・フレ
ックスMCは対象外で技セも通信・宿
直者以外が行っている。信通の検電接
地導入について直轄は行わない。停電
箇所は写真を撮り企画に場所を送り
電力と調整するようになっていく。



その他発言

一ノ関T EMSでは7年で転勤と言
われ、一度に5人の異動があり現場を
熟知している人がいなくなり、今後
事故が起きないか心配である。新潟T
EMSは10年で転勤と言われている
が異動はない。八王子T EMSも異
動は無いが労働
条件が悪くなり、夜勤手当が減らされ
トンネル手当てが廃止になっている。
エルダー出向を減らしていくよう
である。

【その他】

・組織の在り方について11月23日
に業長・職協会議があり今後の職協の
在り方について突合せをした。各地
方・職協も組織人員が少ない。工務・
電気統合など今後の体制を議論して
いくので各地方で議論してほしい。
・電気職場交流会を行っていきたい。
次回仙台だったが準備が厳しいので
東日本電協で考えていく。
・配電分科の組合員が少ないので今後
分科を考えていく。



2021年度電気協議会役員

議長・電車線分科後藤寿昭【八王子】

副議長 堀切 彰【仙台】

副議長 井上美信【東京】

事務長・通信分科 加藤英樹【東京】

各分科長

新幹線強電分科 小林芳弘【高崎】

新幹線弱電分科 菅原清志【盛岡】

信号分科 佐藤光昭【東京】

変電分科 森田 勝【八王子】



配電分科 今野弘樹【千葉】
会計監査 岡部貴一【東京】
菊島高德【神奈川】

各地電協定期委員会予定

水戸工務協定期委員会12月11日

高崎地電協定期委員会12月18日

東京地電協定期委員会3月26日